

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業				事業番号	008-021	
担当部署名	文化観光	局	文化国際	部	国際	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化		
			有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
	無		現状値	—			目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(17)パートナーシップで目標を達成しよう			ターゲット	17.14 ,17.16	
			有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—			目標値	—	
2	関連計画			堺市国際化方針						
3	事業開始年度			平成 3 年度			点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠									

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	在住外国人を含む市民、本市職員、外国人賓客等	対象数	単位
			－	－
7	事業の目的	地域レベルでの国際交流の促進、翻訳・通訳を通じた地域の外国人市民の生活環境整備、海外姉妹・友好都市との交流の促進、及び庁内の人材育成を推進することを目的とする。		
8	事業内容	○国際交流員（CIR）を活用した業務 ・国際交流関係事務（通訳・翻訳・翻訳監修、外国人賓客の接遇等） ・外国人市民への情報発信における翻訳・翻訳監修 ・本市職員に対する語学指導への協力 ・地域民間国際交流団体の事業活動に対する助言 ・地域住民の異文化理解のための交流活動及び在住外国人生活支援 ※総務省・外務省・文部科学省の三省連携により実施されるJETプログラムに基づき、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）を通して、国際交流員（CIR）を招致（英語圏1名、中国圏1名）。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	一般財団法人自治体国際化協会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	国際交流員出務事業数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	25	44	45	45
			実績値	44	44		
			達成率	176%	100%		
	当該指標を選定した理由		国際交流員が庁内外問わず様々なイベント等に従事することで、地域レベルでの国際交流の促進や庁内人材育成などの事業目的に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		国際交流員がイベント等に出務した件数を計上。過去の実績から目標値を設定。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	行政資料等の翻訳、翻訳監修、通訳依頼数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	－	130	134	
			実績値	126	114		
			達成率	－	88%		
	当該指標を選定した理由		行政資料の多言語化や通訳は不可欠であり、翻訳・翻訳監修・通訳依頼件数は本市の国際化への対応状況を図る指標として適当であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		庁内・外からの翻訳、翻訳監修及び通訳の依頼件数を計上。過去の実績から目標値を設定。					

令和7年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業	事業番号	008-021
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	10,710	11,072	11,653	10,730	11,711
	国支出金	83	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（職員公舎貸付料、国際文化観光基金）	1,259	1,324	1,332	1,412	1,732
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	9,368	9,748	10,321	9,318	9,979
14	人件費（b）	4,210	4,815	4,300	4,640	4,700
15	年間経費（c）=(a)+(b)	14,920	15,887	15,953	15,370	16,411

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	国際交流員報酬	決算	7,110	7,110	費用弁償（その他）	決算	186	186	186	186
		予算	7,700	7,700		予算	183	183		
	建物借上料【公舎借上】	決算	1,336	20	自治体国際化協会負担金	決算	184	184	184	184
		予算	1,356	0		予算	184	184		
	共益費【公舎借上】	決算	96	0	傷害保険料負担金	決算	50	50	50	50
		予算	96	0		予算	51	51		
	その他使用料及び賃借料【公舎借上】	決算	107	107	印刷製本費	決算	195	195	195	0
		予算	108	108		予算	214	214		
	外国青年（国際交流員）招致事業正会員負担金	決算	1,200	1,200	その他（通信運搬費、通勤費等）	決算	266	266	266	266
		予算	1,200	1,200		予算	619	619		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 行政資料等の翻訳、翻訳監修、通訳依頼件数	件	126	114
	② 上記①にかかる年間経費	千円	8,045	7,858
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	63,849	68,930
算出についての説明等		本事業に係る一般財源を年間経費として算出		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	- 行政資料等の翻訳・翻訳監修・通訳依頼件数が微減し、年間経費は微減したものの、「Ⅳ. 事業の効率性」の単位当たり経費は約7.9%増となった。 - 国際交流員のイベント等出務に加え、昨年度に引き続き海外姉妹・友好都市からの訪問対応や周年記念事業等があったことから、国際交流員の出務依頼数は横ばいとなり、地域レベルでの国際交流や海外姉妹・友好都市との交流の促進を図ることができた。 - 国際交流員の活動は、国際交流関係業務のみならず市民の異文化理解の促進にも大きく貢献していることに加え、招致に係る経費は、国から地方交付税による財政措置があるため、市が直接雇用することや民間業者委託で実施するより費用負担が少ない。さらに、JETプログラムによる研修支援体制も整っており、質の高い活動と市民サービスが提供できるものとなっている。総じて費用対効果の高い事業であると評価できる。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	- 現在、本市には約20,000人の外国人住民が在住しており、国際交流員は、生活情報のほか、災害情報、緊急を要する情報等を多言語化し、本市ホームページのほか、広報紙、SNSで堺市内外に発信している。また、庁内における急な通訳対応や、市民ボランティア通訳では対応できないセンシティブな通訳を要請された場合にも対応している。 - 本市の外国人住民は増加傾向にあり、今後、更にグローバル化が進み、行政資料の多言語化は不可欠である。質の高い翻訳及び語学能力、国際的な視点での対応等、本事業は国際交流の強化に寄与している。
----	--